

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今年開催された第102回箱根駅伝。

原監督の知-ガンは毎年選手の奮起を引き出す

独自のイメージ戦略、プロモーション戦術として知られています。

原監督の思いが選手達に伝わり、青山学院第5区山登りの新神様、黒田朝日氏の激走に胸が熱くなったのは私だけではないと思います。寒さが続いておりますが、皆様もご自愛ください。

サンライズの物語

最後まで、父は父だった

自分の痛みより、娘の心を守ろうとした選択



その方は、奥様を癌で亡くし最後まで看取った方でした。

自身も胆管がんに罹患し何度もステント入れ替えを行いました、延命治療はしないと決断し自宅へ戻ったのです。

次女家族と四人で暮らしていましたが、自分の親が癌に蝕まれ弱っていく姿を目の前で診ているのは生半可な覚悟ではできない事です。

日に日に弱っていくお父様と向き合い追い詰められていったのです。

そんな中娘の疲れた姿を見て、お父様から「病院へ入院したい」との話があり娘さんも同意され入院となり1週間後永遠の眠りについたのでした。

お悔やみに訪問すると娘さんから「本当にこれで良かったのか分からない」との言葉に何も答えることはできませんでした。

自分が辛い状況にあっても子供を思う親心・・・
なんともやり切れない思いに胸打たれたのでした。

サンライズのデイサービス陽光だより

カレンダー工作

画用紙でかまくらや飾り付けを貼って作りました。



お誕生日 誕生日カードを差し上げて、おやつで手作りパンケーキを出しました。皆さん「ありがとう」「美味しい」と言って喜んで召し上がられていました。



NEWS 今月のニュース

老人ホームをディスコに! 介護士DJの新たな挑戦 音楽は心身ともにリハビリに 健康に長生きを!

宮崎県の特別養護老人ホーム「豊望園」で、懐かしの名曲を楽しむイベント「ロマンディスコ」が九州で初めて開催された。山梨県出身の介護士DJが企画したこの試みは、音楽を通じて高齢者の心身の健康維持を図るものだ。入所者や地域住民ら約120人が参加し、会場はダンスホールのような熱気に包まれた。

「ロマンディスコ、スタートです!」都城市の特別養護老人ホーム「豊望園」のホールに、高らかな宣言とともに懐かしのヒットソングが響き

渡った。懐かしの名曲に合わせて皆さん大盛り上がりを見せています。「ロマンディスコ」と銘打たれたこのイベントには、施設の入所者や職員、近隣住民など約120人が集まった。

ミラーボールを彷彿とさせる光の演出の中、大流行した名曲20曲が次々と流れると、参加者たちは音楽に合わせて一斉に体を動かす。

普段は静かな特別養護老人ホームが、この日ばかりは活気あふれるライブ会場のような雰囲気に変化した。企画したのは山梨県出身のDJで介護士の「DJ GEN」さん。全国各地の高齢者施設を回り、ロマンディスコを開催。音楽体験を通じた支援活動を続けている。音楽には身体的なり

ハビリテーションだけでなく、精神面でのケア、いわゆる「心のリハビリ」にも大きな効果があるという。音楽体験は気分の改善や筋力維持など心身に良い影響を与え、懐かしい曲を聴くことで認知症の予防も期待できる。「今後もDJ GENさんと協力し、福祉の世界を明るくしたい」としている。



特養がダンスホールに

<FNNプレミアムオンライン
2026年1月21日>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>